

# 教育委員会だより

第37号 (令和5年8月～12月)

発行者  
池田町・養基組合教育委員会  
池田町六之井1468-1  
tel. 0585-45-3111 fax. 0585-45-8314  
e-mail yakuba@town.gifu-ikeda.lg.jp

## 新しい年を迎えるに当たり

教育長 高橋利行

令和5年は、新型コロナウイルスも「5類」に移行されインフルエンザも心配される中ではありますが、徐々に児童生徒同士が直接交流できる機会も増えてきました。地域の皆様には、諸行事に小中学生を参加させていただいたり日頃の見守りなどでお世話いただいたりと、ありがとうございました。

さて、世界に目を向けるとウクライナや中東では今も悲惨な状況が続いています。日本も他人事ではいられません。このような不安定な時代に、子どもたちは自分たちの将来に明るい展望を持てるのでしょうか。子どもが将来に希望を持っていないことについては私たちが大人にも責任の一端があるように思います。これからの時代、私たち大人は子どもに対してどのようなことを

をしていけば良いのでしょうか。そんな事を考えている時、先日ある講演会で次の事案を紹介されました。

川崎市では、子どもは、かけがえない価値と尊敬を持っているとして「子どもの権利に関する条例」を制定しました。それを紹介する川崎市のHPに「子どもたちからおとなへのメッセージ」が掲載されています。「まず、おとなが幸せにしてい



ださい。おとなが幸せじゃないのに子どもだけ幸せにはなれません。おとなが幸せでないと、子どもに虐待とか体罰とかが起きます。条例に『子どもは愛情と理解をもって育まれる』とありますが、まず、家庭や学校、地域の中で、おとなが幸せでいてほしいのです。子どもはそういう中で、安心して生きることができま

す。」  
こんな子どもの声も頭におきながら、新しい年令和6年には、子ども一人ひとりが輝ける、子どもを中心とした教育を推進していきたいと考えています。皆様のご協力をお願いいたします。

## 地域学校協働活動研修会が行われました

8月24日に池田町役場で地域学校協働活動研修会が社会教育課主催で行われ、各校の学校運営協議会のメンバーが参加しました。

はじめに岐阜市立岐阜小学校の学校運営協議会長青山朋宏氏の講話をお聞きしました。「つるぎと学習」を基盤に「学校・家庭・地域」が連携・協働した教育活動を推進するため、リーダーとして活動されてきました。地域学校協働活動では、子どもたちに非認知能



講話



学校別に意見交流

力を養うことが期待されており、知識や技能等の認知能力は学校教育で養っても、非認知能力を養うには、地域の教育力が重要ということです。学び部、安全・安心部、地域行事部でそれぞれの活動を行い、地域コミュニティの核としてかわる全ての人が成長する場となっていることをお聞きしました。中でも、学校・家庭・地域が連携して地域学校協働活動を活発に進めるポイントは「人とのつながり」ということが印象に残りました。人とのつながり、信頼関係を築くことで、活動が活発化し、持続可能なものになっていくことを教えていただきました。

その後、学校別に分かれて学校運営協議会のメンバーで意見交流を行いました。今後、地域学校協働活動にどのように取り組んでいくとよいかを考える、よい機会となりました。

## 全国学力・学習状況調査の結果から

4月18日に小6、中3を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。この調査は、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的にしています。

まず、教科に関する調査(小学校は国語・算数、中学校は国語・数学・英語)では、次の内容が一体的に出題されています。

・身に付けておかなければならない学年等の学習内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようにになっていることが望ましい知識・技能等

・知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、課題解決のために、構想を立て実践し、評価・改善する力等

県の平均正答率と比較すると池田町・養基組合管内の傾向として、小学校は2教科ともやや低いものの、昨年度と比べると、やや高い結果になりました。中学校はほぼ同じかやや低い結果となりました。基礎基本は身に付きつつありますが、情報を活用して考えたり書きまとめたりする力に課題が見られました。

次に質問紙調査では、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査が行われ、次のことが分かりました。

**学習面**

○課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。

○学んだことを生かしながら、まとめる活動を行っている。

○日々の家庭での学習時間の確保ができ、計画を立てて学習している。

△ICT機器を学習に活用し、自分の学習に役に立っていると感じられていない。

**生活面**

○将来の夢や目標をもつことができている。

○人が困っているときは、進んで助けることができている。

○地域を大切に思い、行事等には積極的に参加することができている。

△自分にはよいところがあると感じている児童生徒の割合がやや低い。

△自分と違う意見について考えることに楽しさを感じることができていない。

自ら学ぶ意識は高まりつつありますが、自己肯定感が育っていないという課題が見えてきました。

学校では、今後も落ち着いた信頼感のある学習集団づくりを核として、タブレットなどの情報機器を有効に活用しながら、自分の考えをもち、主体的に学習に取り組めるようにしていきます。仲間との対話を取り入れ、多面的に考えたり、考えを仲間へ伝えたりしながら、学びを深められるような授業づくりを目指します。同時に、誰もが学習への達成感、満足感が得られるように、きめ細かな指導に努めます。

また、引き続き、よいところを具体的に認め、励まして、どの児童生徒も「自分のよさ」を自覚し、夢や希望がもてるようにしていきます。基本的な生活習慣や情報環境についても、家庭の協力を得ながら指導を進めていきます。よろしくお願いします。

**令和5年度新任者研修を行いました**

8月8日に新任者研修会が開催され、本年度の新任者教員8名が参加しました。

まず、教育長よりあいさつがあり、県教育ビジョンで策定されている「地域社会人」の育成推進についての説明がありました。

また、教育センター主幹からは、池田町「教育の方針と重点」についての説明がありました。

その後、初任の先生方から、抱負と4ヶ月を振り返った成果と課題発表があり、教育委員との意見交換が行われました。

初任者研修模様



先生方の発表では、児童や生徒、

保護者、他の先生方との良好な関係性構築に向けて、自分なりの考えや目標を持った取り組みを行っている現状がわかりました。また、各委員の話や姿からは、教師としての強い熱意も伝わってきました。

研修では、主幹教諭による「いじめ対応研修」や、学校教員による「普通救命講習」も行われました。今後の一層の活躍を期待しています。

**西濃教育事務所学校職員課 訪問に同行しました**

10月17日池田中、18日養基小、19日温知小、20日池田小・八幡小、24日宮地小の西濃教育事務所学校訪問に同行し、学校子どもたちの様子を参観させていただきました。

**池田中では**

校内は、前回の訪問時と同様に整理・整頓・清掃が行き届いており、経営理念の一つが着実に実践されています。

授業参観は時間が限られており、一部の公開授業だけの参観となりました。

3年の英語は、小集団での授業が行われていましたが、小集団での学びがすっかり板についているという印象でした。国語についても小集団の授業が行われており、リーダーがグループをうまくまとめました。

2年生は、英語を中心として、静かで落ち着いた授業がなされていました。

1年生の道徳の授業は、内容が身近な事柄についてということもあり、生徒の発言も多く、和気あいの授業でした。

全体に、大変良い雰囲気を感じられました。



**温知小では**

池田町では、町単独で多くの支援員さんを学校に雇用しています。その支援員さん達は、とても熱心に子どもたちに接して下さっています。本当にありがたいことです。

昨年と比べると、多くの学級でタブレットや大型テレビを活用して学習が進められていました。

先生方の熱心な指導、子どもたちが落ち着き、集中して学習に向かう姿が多く見られました。

コロナ禍当時と比べると、マスクをしている子が本当に少なく見られました。先生も子どもたちも豊かな表情で学習できることに、つい嬉しくなりました。

**養基小では**

「トリオ」という3人の小集団を取り入れた意見交流を行うことで、自分の考えを持ち、それを自分の言葉で仲間と共有して学びを深めることを大切にしています。

また、意見共有やグループ活動の振り返りなどで児童がICTを効果的に活用する場面もありました。

**池田小では**

コロナによる感染人数が落ち着きを見せる中、今度はインフルエンザが流行して、1クラスが学級閉鎖されている中での訪問となりました。

どのクラスも授業を受ける態度がとても前向きで、積極的な様子が見られました。発表の場面では、発言者ははつきり話し、聞く側はそちらを向いてしっかりと聞いている姿に感じました。

学校全体できちんとした方向性を持っていると感じられました。

**八幡小では**

今年度職員の変動が多く、新規採用の教員や講師が何人も

みえます。校長先生の経営方針の中には、初任者・講師指導による職員全体の資質向上が挙げられていますが、今回も素晴らしい授業をたくさん見せていただきました。

ペア交流する子どもたちの間を先生がどんどん入って行かれアドバイスしたり、よい所を価値付けたりして、そのよさをすぐに全体に広められていました。

一問一答にならず、「今〇さんが言ったことを前で説明してくれる人？」など、一人の子の発言から全体へ広める働きかけがされ、よい交流ができていました。

子どもたちのつぶやきやアイコンタクトで子どもたちの理解度を確かめておられる先生がみえ、子どもたちと先生との距離が近く、よい関係が築けていると感じました。

**宮地小では**

1年生から6年生までの7つの授業を参観しました。1年生は、元気が良く気持ちの良い返事ができており、上手な音読ができていました。また、発表する児童を皆が一斉に注目するなど、初々しさが感じられ大変良い印象でした。

全年年で、ICTの有効利用、「カギカード」を使った授業、が意識され実践されていました。また、図画工作では専門的な技術が教えられている等、教科担任制の良さを感じる授業がなされていました。

また、先生の精力的な机間指導の様子や各教室の掲示にも力が入れている状況が見られました。

今回も全体に小規模校の良さを感じることができました。

**研究発表会が開催されました**

11月1日に池田町養基組合教育委員会指定研究発表会が、養基小で開催されました。

『自ら考え仲間と学び合う子の育成』数学的活動を通して、

思考力・判断力・表現力を育む』を研究主題に、全校が算数科の授業を公開し、その後、全体会・分科会が行われました。

養基小では、児童が45分間学びを止めずに、時には小集団や全体で考え続けることのできる授業「往還する学習過程」を目指して取り組まれてきました。高学年では、課題追究の時、個人・3〜4人の小集団・学級全体などの学び方を往還しながら課題を解決する場面がどの学級でも見られました。また、学びの定着を図るために、タブレットを使ってGIF Uウェブラーニングの問題に主体的に取り組む姿が見られました。低学年では、ペアで操作活動をしたり、話し合いをしたりして楽しく学習する姿が見られました。特別支援学級では、友だちとの関わりを大切に学習ができるように工夫がされていました。

授業後に行われた高学年・低学年・特別支援の各分科会も参観された先生方が少人数のグループになり、授業の感想や意見交流が熱心に行われました。高学年分科会では、先生方から、主体的に対話的な深い学びを授業者が意図し、研究の方向がはつきりとしていることや子どもたちが、聞き合い、話し合いをしながら、自ら学ぼうとする姿が育ってきているという意見が出されました。

小集団で学び方を往還

分科会



タブレットを使って

## 市町村教育委員会連絡協議会総会・研修会 令和の日本型教育の推進

11月10日、県市町村教育委員会連合会研究総会が、可児市文化創造センターで開催されました。昨年度は講演がオンラインでしたが、本年度は対面で、県内の市町村・組合の全教育委員と教育長ついで3名が参加しました。県連合会会長、県教育長、可児市長の挨拶に続き、「ゴルフから学んだ事」という演題で、プロゴルフ・前岐阜県教育委員の森口裕子氏の講演がありました。ゴルフとコーチとの出会い、両親や兄から学んだことなど、とても分かりやすい内容で、興味深く拝聴しました。会場からの質問も多く出されました。頂点を極めた方は、教育にも通じる内容が多かったです。



総会



講演

続いて、4つの分科会に分かれて代表市町教育委員会の実践発表がありました。

- ・第1分科会では、御嵩町教育委員会から「ふるさと教育の推進」の発表。
- ・第2分科会では、各務原市教育委員会から「安心して居場所づくり」の発表。
- ・第3分科会では、白川町教育委員会から「教職員の指導力向上」の発表。
- ・第4分科会では、海津市教育委員会から「多様性を重視した教育の推進」の発表。



分科会

今後の池田町の教育に生かしていきたいと考えています。

### 南部校長会との 合同会議を開催しました

11月13日、南部校長会と教育委員会との今年度2回目の合同会議を行いました。

会議では、各校長先生より「学校評価アンケート」に基づいた令和5年度前期の振り返りや後期の取り組み等の詳しい説明を受けました。教育委員会からは、前期の振り返りに関する意見や各行事を通しての各学校に関する感想、ICT活用に関する提案等、それぞれの思いを先生方にお話しし、後期の充実した学校経営への努力を依頼しました。

また、今後の合同会議の持ち方について、報告だけに留まらず、タイムリーなテーマに関する意見交換や協議の時間を多く取ることを提案し、次回からはこの方向で会議を持つことを確認しました。



どの分科会でも数人ずつのグループを編成し、グループごとに発表内容に対する意見や感想を交流しました。終日の研究総会に参加し、とても有意義な時間を過ごすことができました。

#### 編集後記

コロナ感染者数も落ち着いてきたと思われるのも束の間、10月からインフルエンザが猛威を振るい、多くの学校で学級閉鎖や学年閉鎖となりました。

そんな中、体育祭、運動会、修学旅行等学校行事もほぼ計画通り行われ、町教委指定研究発表会も養基小学校で無事行われました。

今年の年末年始も、インフルエンザとコロナ感染症の複合感染が危惧される所です。旅行・帰省による再会など、感染リスクが高くなりますので、各家庭でも感染対策を行いながらお過ごしください。

今後も、教育委員会だよりでは、活動状況を発信していきますので本日よりについて、お気づきの点があれば、お知らせください。

編集担当：林啓子・勝野茂優

#### 教育委員会の主な活動報告 令和5年8月～12月

日付	活動	場所
8月8日	町教育委員会初任者研修	庁舎会議室
8月24日	地域学校協働活動研修会	庁舎会議室
9月7日	池田町・養基組合合同教育委員会	庁舎会議室
9月20日	池田中体育祭	池田中学校
10月6日	池田町・養基組合合同教育委員会	庁舎会議室
10月14日	小学校運動会	各小学校
10月17～24日	西濃教育事務所学校訪問（同行）	各小中学校
11月1日	養基小研究発表会	養基小学校
11月10日	市町村教育委員会連合会研究総会	可児市文化創造センター
11月13日	南部校長会・池田町養基組合教育委員会合同会議	庁舎会議室
11月13日	池田町・養基組合合同教育委員会	庁舎会議室
12月14日	池田町・養基組合合同教育委員会	庁舎会議室
12月14日	教育委員会だより編集会議	庁舎会議室